

# 北海道心理学会第 65 回大会案内

(1号通信)

2018年7月24日

## ごあいさつ

北海道心理学会第65回大会を、札幌国際大学を会場として開催することになりました。65年という歳月は、社会の中では、定年を迎え、世代交代の時期ともいえます。そのような節目の時期に、大会の歴史に名を留められることを有り難く感じております。

今大会では、通常の研究発表に加え、大会企画シンポジウムと、昨年同様に、認定心理士の会と共催の公開シンポジウムを予定しています。皆様にご満足いただけます大会となりますよう努めて参りますので、是非、ふるってご参加下さいますよう、お願い申し上げます。

やっと盛夏となってきましたこの頃ですが、羊ヶ丘から続く広大な森に囲まれた本学です。会期の10月20日頃は、紅葉の見ごろではないかと思っておりますので、ご来場をお待ちしております。

北海道心理学会第65回大会  
準備委員長 中野 茂

1. 会期： 2018年10月20日(土)

2. 会場： 札幌国際大学

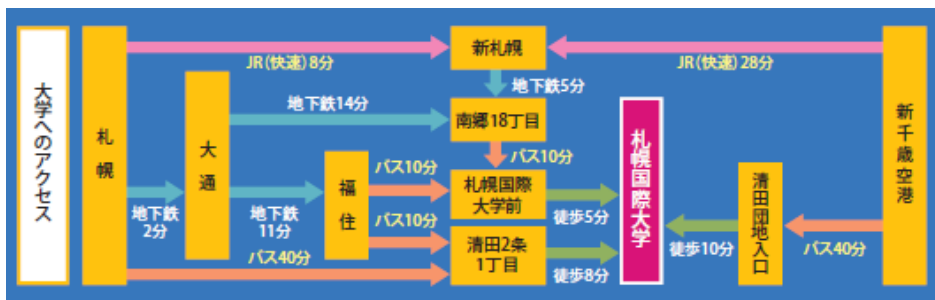
◇地下鉄東豊線「福住駅」から(「さっぽろ」から13分)

中央バス「清田2条1丁目」下車徒歩8分(バス系統：平50、80、85、福85、86、福86、福87、88、福88、96、福96、福97、113、広島線、千歳線)

中央バス「札幌国際大学前」下車徒歩5分(バス系統：福95)

◇地下鉄東西線「南郷18丁目駅」から(「大通」から14分、「新さっぽろ」から5分)

中央バス「札幌国際大学前」下車徒歩5分(系統：南77、南85、南86)



## 行事予定

- (1) 研究発表：すべてポスター発表形式（パネル展示）です。
- (2) 学会企画シンポジウム：「心の理論の裾野（仮）」  
話題提供者：  
小島康次（札幌保健医療大学）「ダイナミックシステムからみた心の理論：社会的参加の水準と他者の心」  
川端美穂（北海道教育大学旭川校）「幼児期における自他の内面理解—間主観的、間身体的のかかわり合いのなかで育まれる表象世界のつながり（仮）」  
中野茂「トドラー・双生児同士の視覚的共同注意にみる他者の心の読み取り」  
指定討論者：  
戸田まり（北海道教育大学札幌校）
- (3) 認定心理士の会主催シンポジウム：「発達障害と生きる社会 ～その機序と支援について～（仮）」  
話題提供者：  
安達潤（北海道大学大学院教育学研究院）「発達障害児者の支援に国際生活機能分類（ICF）を活かす～連携支援の実現に向けて～（仮）」  
米田英嗣（青山学院大学教育人間科学部）「自閉スペクトラム症を持つ方々の共感性」  
関あゆみ（北海道大学大学院教育学研究院）「学習障害の理解と支援」  
湯澤正通（広島大学大学院教育学研究科）「発達障害とワーキングメモリ」  
（本シンポジウムは日本心理学会・認定心理士の会主催・北海道心理学会後援企画です）
- (4) 懇親会：活菜旬魚さんかい（札幌市豊平区月寒東3条19丁目13-1 011-852-2077  
大学からの送迎バスがあります
- (5) 会議等：理事会 11:30-12:20 総会 12:30-13:30
- (6) 昼食：土曜日のため会場（大学）内売店ならびに食堂は休業しております。昼食はお近くのレストランまたはコンビニエンスストアをご利用ください。ご休憩はメイン会場の2階ロビーおよびカフェ席をご利用ください。飲料の自動販売機は1階にございます。大学敷地内はすべて禁煙です。

## 3. 大会参加・研究発表申込

- (1) 申込期限：大会参加・研究発表申込期限を**2018年8月31日（金）まで**とします。研究発表をしない方の参加も歓迎します。
- (2) 申込方法：メールでお願いします。北海道心理学会ホームページにより申込みテンプレートをダウンロードし、E-mailに添付して北海道心理学会 第65回大会事務局 ([hokkaido-psy65@ts.siu.ac.jp](mailto:hokkaido-psy65@ts.siu.ac.jp))にお送りください。メール以外の方法を希望される方は別途事務局までご相談下さい。

**研究発表要領：**発表抄録の原稿（PDFファイル）を、別紙「発表抄録原稿作成要領」に従って作成し、10月14日（日）～20日（土）の期間内にE-mailで北海道心理学会 第65回大会事務局 ([hokkaido-psy65@ts.siu.ac.jp](mailto:hokkaido-psy65@ts.siu.ac.jp))にお送りください。お送りいただいた抄録原稿は、2019年3月頃に公開予定の北海道心理学研究（<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/hps/-char/ja/>）に掲載されます。

抄録原稿テンプレートは北海道心理学会ホームページ <http://www.hokkaidoshinrigakkai.org/forms.html> からダウンロードできます。当日の印刷原稿の提出は必要ありませんのでご注意ください。なお、抄録の提出が期限に遅れた発表は、慣例により奨励賞の対象から外れることとなります。何かの事情で期限内に抄録を送付できなかった場合には、10月27日（土）までに北海道心理学会事務局 ([secretary.hps@gmail.com](mailto:secretary.hps@gmail.com))へ直接お送りください（この日までに抄録原稿をお送りいただけない場合は、発表そのものが取り消し扱いとなり、抄録は北海道心理学研究に掲載されませんのでご注意ください）。

筆頭発表者は正会員、名誉会員のみ認められます。発表に際して学会への入会を希望される方は、大会参加申し込み期限2週間前（2018年8月17日 金曜日）までに、入会申込書を学会事務局にお送りください。入会申し込み方法は、北海道心理学会のホームページ <http://www.hokkaidoshinrigakkai.org/entry.htm> に掲載しております。なお、連名発表者には非会員でもなることができます。

(3) 大会参加諸費用

	正会員（一般）	正会員（大学院生）	臨時会員	学部学生
大会参加費	3,000 円	2,000 円	3,500 円	1,000 円
懇親会費	5,000 円	3,500 円	5,000 円	3,500 円

大学院生、学部学生の方は当日学生証をご提示ください。認定心理士の有資格者が認定心理士の会主催シンポジウムだけに参加する場合には参加費はかかりません。諸費用(年会費未納の方は年会費含む)の納入は当日受付にて承ります。

(4) 連絡先（大会に関するお問い合わせ等はできるだけ E-mail をご利用ください）

第 65 回北海道心理学会大会準備委員会

E-mail: hokkaido-psy65@ts.siu.ac.jp

〒0004-8602 札幌市清田区清田 4 条 1 丁目 4-1

札幌国際大学 橋本久美

電話：011-881-8844（代） FAX：011-885-3370

4. 今後の通信予定

大会プログラムの詳細を記載した第 2 号通信は 9 月中に下記の北海道心理学会ホームページにアップしますので各自でご確認ください。

<http://www.hokkaidoshinrigakkai.org/schedule.html>

各種書式ダウンロード URL

QR コード



入会、および登録変更申込書

研究発表抄録原稿用テンプレートにアクセスできます。

## 発表抄録原稿作成要領

### 1. 論文の構成

日本心理学会発行の「執筆投稿の手引き」などを参考に、原則として研究の目的、方法、結果、考察、文献などの項目に分けて記述し、科学論文の要件を満たして下さい。

### 2. 原稿と記入方法

- 1) 原稿の枚数はA4判1頁です。
- 2) 原稿はワードプロセッサ等を使用して作成して下さい。本文の総字数は、24字×40行×2段の1920字が規定値ですが、多少増えても構いません。ただしその場合でも、27字×52行×2段の2808字以下となるようにして下さい。
- 3) ワードプロセッサによる保存ファイルではなく **PDFファイル**として保存したものを**ご提出いただきます**。

### 3. レイアウト

- 1) 原稿レイアウトであるテンプレートファイル (MS Word 形式) が北海道心理学会 Web サイトからダウンロードできます。出来るかぎり、このテンプレートファイルを元に原稿を作成して下さい。 Word を使用しない場合は、レイアウトに従って原稿を作成してください。

URL : <http://www.hokkaidoshinrigakkai.org/forms.html>

- 2) マージンは、最低、上下25mm、左右15mm ずつとって下さい。
- 3) 題目・氏名・所属は、およそ25mm 程度に収まるように書いて下さい。
- 4) 連名の場合には、発表者の氏名の前に○印を付けて下さい。
- 5) 本文は、所属が記入されている行から約10mm あけて書き始めて下さい。
- 6) 図表を入れる場合は、縮小されても見にくくならないように気をつけて下さい。また、図表は全体の面積の1/3を越えないようにして下さい。

### 4. 原稿の提出

抄録原稿は、大会1週間前～当日に、大会準備委員会事務局へのメールに添付する形で提出していただくことになっております(大会当日の紙の原稿での提出は廃止されました)。ご都合で発表当日以降に原稿を提出される場合は、大会終了後1週間以内に「北海道心理学会事務局」(大会準備委員会ではありません)の方にお送りいただきます(この日までに抄録原稿をお送りいただけない場合は、発表そのものが取り消し扱いとなり、抄録は北海道心理学研究に掲載されませんのでご注意ください)。